

渋谷区議会議員

浜田ひろき

渋谷区議会民主党 区政レポート

2011 年 4 月



(事務所) 〒 151-0013 渋谷区恵比寿 4-10-5-202
TEL :03-5422-9517 FAX :03-3447-0447
ホームページ :http://www.hamada.to/
E メール :hiroki@hamada.to



提案する。選択肢をつくる。

渋谷区議会の平成 23 年第 1 回定例会は 3 月 1 日に始まり 28 日に終了しました。条例や 23 年度予算が議決されました。

浜田ひろきは 2 日に一般質問で、選挙運動自動車のガソリン代不正請求問題やネーミングライツについて区長や選挙管理委員長に質問しました。25 日に予算総括質疑で震災対策について発言しました。

23 年度予算 災害備蓄品を増強へ

23 年度各会計予算については、浜田ひろきや民主党からの要望が多く取り入れられました。特に健康づくり施策で子どもの予防接種の充実や、障害者施策で施設充実や自立支援に向けた取り組みの強化が見られたことを評価。また、区長に対して申し入れを行った地震災害に対応した災害備蓄の充実については、急きょ補正予算が提案されたことなどから、賛成しました。

・災害対策備蓄の拡充内容

食料・飲料水	28,000 人分→ 84,000 人分
粉ミルク・粉ミルク用飲料水	845 人分→ 1,690 人分
ベビーフード	700 人分→ 1,400 人分

その他、新規に全保育園・幼稚園児・小中学生用食料各 1 日分、寝袋、ウェットティッシュなどを整備



← 区施設での防災備蓄の例

— 民主党の 3 条例案はいずれも否決に

給食費を一般会計に組み入れる公会計化で区・教育委員会の責任強化と、未納問題に対する負担の公平性の確保を目指して提案した「学校給食費条例」と公認会計士や弁護士など外部の人材による監査を行うための「外部監査条例」はいずれも自民党・公明党などの反対で否決。加えて、選挙運動自動車のガソリン代不正請求問題の再発防止のため高額すぎるガソリン代の上限を引き下げを提案した「選挙運動の公費負担に関する条例の改正案」も否決となりました。

— 積極的な条例提案を行っています

今、全国で地方議会の存在意義が問われる出来事が多く起きています。例えば、全国の地方議会の 91% では議員からの条例提案が全く無い状況です。また渋谷区議会でも、区長からの提案が否決または修正された例は今期中、1 件もありません。

執行部・区長に対し、是々非々で対応するとともに、議員同士でも積極的に区政の中での課題に対応するための政策立案を行うことが求められています。

これからも区民の皆さんとともに区政の課題を話し合うために議会で積極的に提案を行い論点を明らかにしていきます。

ネット中継求める請願「継続審査」に

3 月議会では、区民の方から「渋谷区議会のインターネット中継を求める請願」が出されました。民主党などの議員が紹介議員となり、議会運営委員会で審査が行われましたが、自民党・公明党などの多数会派が採択に難色を示し、継続審査となりました。改選期にあたるため、請願は実質的には廃案です。4 月中に同委員会でインターネット中継については協議が行われることになりました。

渋谷区議会は 23 区中、唯一、インターネットやテレビ、ラジオでの中継や取材受付を行っていない議会になっています。つまり会議の映像・音声を議場の外の一般の人が見られない閉鎖的な状況になっています。改革が求められます。

区での被災者支援の強化を申し入れ

3 月 11 日に起こった東北地方太平洋沖大地震について、区民の安心・安全を守る立場から、情報提供や帰宅困難者対策について、以下のように区長に申し入れを行いました。

- 1、区民に対する情報提供を強化すること。
(ウェブサイトや安全安心メールの活用)
- 2、一時集合場所、避難場所の周知徹底と誘導體制の再確認を行うこと。
- 3、区施設を適切に帰宅困難者対応のために活用すること。
- 4、節電のため、区施設の開館時間等を見直すこと。
- 5、企業の防災備蓄状況を確認するとともに、区の備蓄を増強すること。

また、22 日には被災者支援に関して、区の通常の宿泊施設での被災者受け入れや被災地へのさらなる職員の派遣などを求める申し入れを行いました。

渋谷区では 3 月 28 日現在、区が所有する檜原自然の家（檜原村）に 15 名、区内民間住宅に 4 名の被災者を



< 浜田ひろきプロフィール >

- 昭和 53 年 4 月 7 日鹿児島市生まれ
- 東京大学教養学部広域科学科卒業
- 総合人材サービス会社に勤務
- 平成 19 年 4 月渋谷区議会に初当選
(現在 1 期目、福祉保健委員所属)
- 趣味はバスケットボール、カラオケ
- 渋谷消防団第 3 分団所属

受け入れており、被災地へ医師、保健師（宮城県気仙沼市へ）や社会福祉協議会職員（福島県二本松市、相馬市へ）を派遣しています。

さらなる被災者・被災地支援が支援が区民の要請と考えています。



← 檜原自然の家（檜原村）

NO 選挙カー推進ネットワークに賛同

超党派の地方議員で作る「NO！選挙カー推進ネットワーク」に加盟しました。これまでも浜田ひろきは、従来の慣行にとらわれない対話を中心とした新しい政治文化づくりを目指して、選挙カーの使用していませんでしたが、同じ考えを持つ多くの地方議員と連携しながら、この動きを広げていきます。

このネットワークの趣旨は以下の 3 項目を遵守し推進することです。全国で 30 名以上の地方議員が参加しています。



- 1、選挙中に使用する車に据え付けのスピーカーを設置しない
- 2、車中より音声を発しない
- 3、運転手代、ガソリン代など選挙カーに適用される公費負担を請求しない

NO! 選挙カー



区議会でも民主党の先頭で論戦をリード。本会議でも委員会でも区民の目線で積極的に発言し提案しています。



地域社会の一員として、自然体であらゆる活動に取り組んでいます。消防団 3 分団では操法大会で 2 度優勝。2010 年は 3 位でした。

浜田ひろき 区政改革プランを発表！

渋谷区議会民主党（浜田ひろき副幹事長・政策担当）は2月28日に区政改革プラン・政策方針を決定し発表しました。

所属議員が共通の政策方針を掲げ、区民のみなさんのご意見をいただきながら、区議会の中で政策実現を目指します。

平成 2 3 年政策方針を発表

- 〔 〕 **情報公開と監査の強化で区政の「見える化」を！**
 - ・補助金をゼロベースで見直し外部監査制度を導入
 - ・情報公開を徹底し、区民参加の区政を目指します。
- 〔 〕 **公契約条例制定で官製ワーキングプアの防止を！**
 - ・公契約条例や総合評価入札方式を導入し、地域の中小事業者や雇用者を守ります。
- 〔 〕 **学校給食無償化と公会計化で子育て負担軽減を！**
 - ・学校給食費は「食育」として無償化します。
- 〔 〕 **ネーミングライツ制度を見直し手続きを条例化！**
 - ・ネーミングライツは制度・手続き、議会の関与を条例で定めます。
- 〔 〕 **保育所待機児ゼロをめざします！**
 - ・保育所の整備を進め、保育ママなど少人数保育の多様な制度を導入します。
- 〔 〕 **コミュニティスクールと地域の特色ある教育！**
 - ・地域に根差した公立学校を目指し、地域の特性、地域人材を活用した教育を進めます。
- 〔 〕 **リサイクル率向上！ごみの分別・出しやすさ改善！**
 - ・容器包装リサイクル法に基づくリサイクルを推進。
- 〔 〕 **地域のボランティアの力で介護予防を進めます！**
 - ・地域通貨の導入でボランティア活動を応援します。
 - ・特別養護老人ホームの整備をすすめ待機者を解消。

- 〔 〕 **「モノ」と「心」のバリアフリーを進めます！**
 - ・区独自の障害者福祉サービスの負担軽減と民間福祉作業所の助成を拡充します。
 - ・障がい者雇用の促進と福祉作業所活用を進めます。
 - ・公共施設、交通施設のバリアフリー化を推進。
 - 〔 〕 **区議会のインターネット放送！開かれた議会へ！**
 - ・議会基本条例を制定し議会の政策立案機能の強化情報公開・広報を充実します。
 - 〔 〕 **議員年金廃止！区長などの退職金は見直しを！**
 - ・4年ごとに支給される区長退職金を見直します。
- ※〔 〕には今後あなたの評価を書き入れてください。

平成 1 9 年政策方針の検証 自己評価

渋谷区議会民主党は平成19年に掲げた政策方針の検証を実施しました。政策方針と結果を比較した評価です。議会定数34名中、4名の会派ながら実現した項目も多く、また「×」となっている項目でも主張通り区長提案の議案に反対するなど、区民のみなさんに示した政策方針に沿って議会活動を行ったことで論点を示す成果があったと考えています。少数会派のため実現しなかったものもありますが、おおむね「公約」通りの行動ができたと考えています。

「評価（記号）	項目	説明
◇		
×	旧大和田小学校跡地計画は白紙撤回を！	ハチ公バスの停留所設置など施設の利便性の向上やネーミングライツ活用やランニングコストの削減という点で要望が反映されました。
×	学童クラブと放課後クラブの統合を白紙に！	選択できる育児環境を！
		放課後クラブの運営体制の強化のための「放課後クラブ条例」の提案・制定や子ども活動場所の多様化の

要望に対して児童館機能をもつ代官山ティーンズクリエイティブが実現するなどしました。

- **災害時の帰宅困難者向けに集客施設や大規模事業所への防災備蓄義務付けを！**
 - 震災対策総合条例が改正され、事業者の責務が強化された。駅周辺地域の事業者協議体が発足し、帰宅困難者訓練の実施や共同備蓄の検討が行われるなど、要望が確実に反映されています。
- **コミュニティスクールの実施に向けて、モデル校を導入します！**
 - 実施に向け小学校校長会にて検討が始まっています。本格実施及び拡大が今後の課題。
- **ライフスタイルの変化に対応した区役所・出張所を作ります！**
 - 区役所の夜間休日窓口の充実、コンビニでの諸証明発行・納付、証明書自動交付機の設置、コールセンターの導入など着実に実現。今後は有機的・総合的な窓口改革を推進。
- **リサイクル率を上げるためにごみの分別や出しやすさを改善します！**
 - ペットボトルの回収、太陽光発電売電分上乗せ助成など実現。引き続き資源分別の徹底、地球温暖化対策の推進などに取り組みます。
- ◎ **障害者自立支援法による障がいの負担増を緩和します！**
 - 障害者自立支援法に対し、利用者負担や民間作業所の助成について、区の独自負担軽減や区独自の制度の維持で、負担増を食い止めています。
- △ **議員年金は廃止！**
 - 区長など特別職の退職金の見直しを！
 - 議員年金は国で廃止の方向が決定し、実現の見通し。特別職退職金見直しは区長に対し要望。

再び議論のない予算特別委員会に

3月議会の終盤25日に行われた予算特別委員会では、分科会の審査を受けた総括質疑・討論・採決が行われました。総括質疑では唯一、浜田ひろきが発言通告を行い、区長に対して、震災対策をテーマに一時集合場所の活用状況、被災者支援や計画停電の対応について質疑の発言を行いました。ところが直後に、自民党の議員から「予算に関係がない」「分科会で行うべき」という趣旨の動議が出され、理事会で協議された結果、

議事録からは取り消さないものの、区長の答弁なし、質問は取り下げという結果になりました。それまで渋谷区議会では昨年、浜田ひろきが行った以外は、予算総括質疑が全く行われていませんでした。自民・公明・共産の各党は常任委員会と同じ構成で行う分科会の項目ごとの予算審査のみを重視する立場を取っているようです。「総括質疑はありますか」と委員長は言うものの、質疑をしてはならない状況が作られています。

区議会では、組織の縦割りにとらわれ過ぎることなく、区政において重要な課題を区民に分かりやすい形で議論を行うことが求められていると考えます。

改革が求められる渋谷区議会



浜田ひろきは本会議や所属委員会などで積極的に発言し、議員提案条例など現行の制度をフル活用していくほか、議会改革の面でも、しっかりと議論し、政策を立案する議会を目指して提案を行っていきます。

<渋谷区議会民主党の議会改革プラン>

- ・議会基本条例の制定
- ・議員定数の削減
- ・議員年金制度は廃止を求めます
- ・日額旅費（本会議・委員会出席の費用弁償5,000円）は廃止します
- ・議員に対する表彰制度は廃止します
- ・長期欠席者に対する報酬・政務調査費等は減額します
- ・政務調査費の一層の透明化をはかり、新年会・総会など飲食費を含む会費には支出を制限します
- （民主党は自主的に飲食費を含む会費に政務調査費を支出することを会派内ルールで禁止しています。）
- ・議長交際費の使途は公開します
- ・本会議のインターネット・ビデオ中継を実施します
- ・委員会での説明資料は傍聴者にも配布します
- ・無所属議員の本会議質問は制限時間を拡大します

ご意見・ご相談はどんなことでも
 浜田ひろき事務所 TEL. 03-5422-9517
 ツイッターやフェイスブックも使っています。

東北地方太平洋沖大地震の被災地の皆さまに心からお見舞い申し上げます。義援金のご協力をお願いしています。

主な義援金受付口座

郵便振替 (口座名義) 中央共同募金会 (口座番号) 00170-6-518
 (口座名義) 日本赤十字社 (口座番号) 00140-8-507

※いずれも通信欄に「東北関東大震災義援金」と記入すると、手数料が無料になります。

※上記への義援金も「ふるさと納税」と同じように所得税と個人住民税の控除が受けられることになりました。振替の半券・控などを必ず保管しておきましょう。

・被災地での混乱を防ぐため小口の物資の送付は受け付けていないことが多いようです。

・義援金詐欺には注意しましょう。